寅さん歩　その 26

東京の主要道路の起点～終点

外堀通り－1

平野　武宏

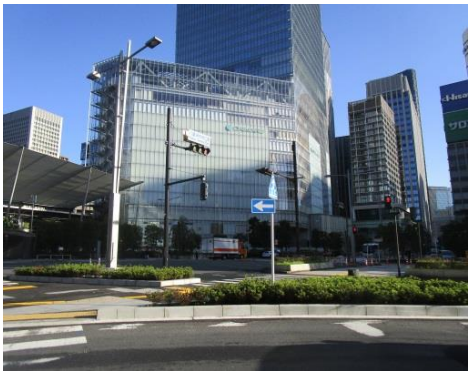
道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思いました。2021 年 10 月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」と歩きました。

今回は「外堀通り」を歩きます。写真上右は外堀通りの道路名標識（都道 405 号線）です。外堀通りは中央区東京駅八重洲の中央口前交差点を起点・終点として一部の区間は江戸城の外堀に沿って時計回りに一周する延長約 13ｋｍの道です。交差点が多いので 3 回に分けます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関利用の代表例です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

［ＪＲ東京駅八重洲中央口前交差点］ 中央区八重洲二丁目

最寄駅　ＪＲ　東京駅



ＪＲ東京駅八重洲口や駅前は高層ビルが立ち並び、昔の面影はありません。八重洲中央口前交差点（写真左）が外堀通り（都道 405 号線）の起点・終点です。
人や車を避けて休日の早朝、時計回りで銀座方面へスタートします。

鍛冶橋交差点（写真下右）で鍛冶橋通り（都道 406 号線）と交差します。
左へ行くと永代橋方面、右へ行くと二重橋方面です。

右手に交通会館（写真下左）やＪＲ有楽町駅方面（写真下右）を見ながら進みます。ＪＲ有楽町駅から銀座西二丁目（並木通り）は寅次郎の 1965 年（昭和 40 年）から初任地への通勤路でした。東京本社でしたが、2 階建ての自社建物以外は周りのビルを借りたり、高速道路の下のオフィスなどに分散していました。工場への投資を優先した後、南青山に初めての本社ビルを建て、現在は東京ミッドタウンにも本社があります。

［数寄屋橋交差点］　中央区銀座三丁目　　最寄駅　ＪＲ　有楽町駅

数寄屋橋交差点（写真下左）で晴海通り（都道 304 号線）と交差します。左へ行くと銀座四丁目方面、右へ行くと日比谷方面です。交差点の右奥にある数寄屋橋公園（写真下右）には「数寄屋橋　此処に　ありき　菊田一夫」の碑（写真下右）があります。数寄屋橋は戦後ＮＨＫのラジオドラマで夕方の放送時には銭湯の女湯が空っぽになったといわれた、菊田一夫作「君の名は」での真知子と春樹の出会いの場所です。2016 年公開のアニメ「君の名は。」とは違います。

偶然の話ですが、寅次郎の奥さんは数寄屋橋交差点角のビルに勤務していましたが、二人は「君の名」や「銀座の恋の物語」の展開にはなりませんでした。

［新橋駅銀座口前交差点］　港区新橋　最寄駅　　ＪＲ　新橋駅

土橋入口（写真下左）を過ぎ、高速道路をくぐると、「新橋駅銀座口前交差点」（写真下右）で外堀通りは右折してＪＲのガードをくぐります。昭和通り（都道316 号線）はここが起点で左へ進みます。ここで港区に変わりました。

新橋駅日比谷口前信号を左へ入ると駅前広場で蒸気機関車（写真左）が展示されています。汽笛一斉時間が掲示され、12 時、15 時、18 時に数秒の汽笛が鳴るそうです。この駅前広場はテレビ局のサラリーマンへのインタビュー場所です。寅次郎の家の近くの巣鴨地蔵通りはお年寄りへのインタビュー場所です。

［西新橋交差点］　港区新橋二丁目

最寄駅　都営地下鉄　三田線　内幸町駅

西新橋交差点（写真下右）で日比谷通り（都道 409 号線）と交差します。左へ行くと芝公園方面、右へ行くと日比谷方面です。

［西新橋一丁目交差点］　港区西新橋一丁目

最寄駅　都営地下鉄　三田線　内幸町駅

西新橋一丁目交差点（写真下右）で桜田通り（都道 301 号線）と交差します。左へ行くと赤羽橋方面、右へ行くと祝田橋方面です。

［虎ノ門交差点］　港区虎ノ門二丁目

最寄駅　東京メトロ　銀座線　虎ノ門駅

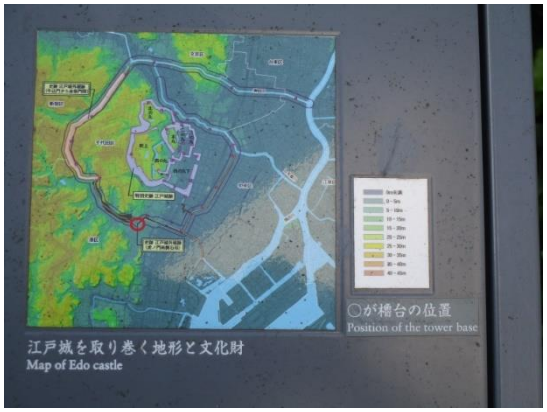
虎ノ門交差点（写真下右）で国道 1 号線と交差します。左へ行くと神谷町方面、右へ行くと霞が関方面です。虎ノ門交差点付近には江戸城の外堀にあった城門

「虎之御門」がありました。交差点右角には「虎ノ門遺址の碑」（写真下右）があります。

正面は 1968 年（昭和 43 年）4 月、日本初の超高層ビルとして日本一の高さを誇った「霞が関ビル」です。2 年後には世界貿易センタービルに日本一の座を奪われました。手前は新装なった文部科学省です。交差点を渡り、すぐ左のビルの谷間に「虎ノ門金刀比羅宮」があります。讃岐丸亀藩の江戸藩邸にありましたが、今では複合ビル　虎ノ門琴平タワーと一体化しています。

外堀通りに戻り、領土・主権展示館前に「溜池櫓台跡」の説明板（写真上右）がありました。溜櫓台跡は、江戸城外堀に 3 つ設けられた櫓台のうちの 1 つです。江戸城櫓台はいずれも主要な道に面した場所につくられました。「江戸切絵図」1859 年（安政 6 年）の赤印がその位置です。左が溜池で右が虎之御門（現在の虎ノ門交差点）その先が新橋と読み取れます。溜池及び周辺の堀は明治時代に埋め立てられましたが、近隣の文部科学省構内には平成 16 年度の合同庁舎整備の遺跡発掘調査で発見された外堀の石垣が（写真下左）残っており、かつての外堀の姿を偲ぶことができるとのことなので後日、文部科学省を訪れました。写真下右は掲示板に一緒に書かれていた「江戸城を取り巻く土地と文化財」です。

領土・主権展示館は寅さん歩 332　東京の博物館めぐりー19 千代田区ー5 をご覧ください。この一角だけ千代田区の飛び地になっています。



［赤坂一丁目交差点］　港区赤坂一丁目

最寄駅　東京メトロ　銀座線　虎ノ門駅

赤坂一丁目交差点（写真左）は環二通りの起点で、左へ行くと築地虎ノ門トンネルから晴海，豊洲を抜けて江東区有明への道です。先日の東京オリンピックで活用されました。開通時に俗称のマッカーサー道路と報道がありましたが、これは誤った呼び方とのことです。

今回はここまでとします。

［バーチャルウォーク途中経過］

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがＦＷＡホームページ「ＹＲ・四季の道」に掲載されています。　寅次郎、現在はバーチャルウォーク　松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 600 里（約 2400ｋｍ）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。
2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）の芭蕉庵を出発、白河の関を

越え、2022 年 6 月 28 日須賀川（現在の福島県須賀川市）（江戸深川から 368 ｋｍ）に到着しました。
八柳さんのコースシートには都度、芭蕉の俳句が掲載されています。

須賀川の宿駅で「白河の関いかに越えつるや」と問われて「長い道中の苦しみに身心ともに疲れていた上に、一方ではまた、風景のすばらしさにすっかり魅了され、また幾多文人墨客の往時を追懐しては断腸の思いにせまられ、はかばかしく句を思いめぐらすこともできませんでした」と語り、

「風流の　初めや奥の　田植え歌」

（注釈：白河の関を越えて耳にした鄙びた陸奥の田植え歌、それこそ詩歌の源流につながるもので、今度の旅中、本格的な奥州路に入って最初に体験した風流であった）

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。
ＦＷＡのＨＰ「ＹＲ・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。
また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。
歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野　寅次郎　拝